

## 令和2年度 第7回 北区自治協議会 議事概要

**日 時** 令和2年10月22日(木)午後1時30分から

**会 場** 北地区コミュニティセンター2階 大ホール

### **出席者 委員**

神田征男委員、神田恭之委員、赤間委員、松田委員、五十嵐委員、本間藤雄委員、  
阿部勝幸委員、原委員、山賀委員、清水委員、樺山委員、工藤委員、  
澤委員、鶴巻委員、平松委員、皆川委員、  
村山委員、渡邊委員、本田委員、阿部美恵子委員、梅津委員、中嶋委員、  
佐久間委員、本間久文委員、

計24人

(欠席：黒川委員、小池委員、小林委員、菅原委員、相馬委員、  
藤沢委員)

### **事務局**

#### **[北区役所関係]**

区長、区民生活課長、健康福祉課長、産業振興課長、建設課長、北出張所長、  
北区農業委員会事務局長、消防局北消防署長、北区教育支援センター所長、  
豊栄地区公民館長、地域総務課長補佐2人、地域総務課員4人

**傍聴者** 2人

### **内 容**

#### **1 開会**

#### **2 報告事項**

##### **(1) 令和元年度北区「特色ある区づくり予算事業」実績等について**

松田会長

報告事項(1) 令和元年度北区「特色ある区づくり予算事業」実績等について、担当課長から報告をお願いします。

#### **区 長**

地域総務課担当分から順番に説明させていただきます。

報告資料1、1ページをご覧ください。

はじめに北区賑わいづくり事業です。地域が組織する新崎駅未来ビジョン実行委員会と協働し、新崎駅南口にイルミネーションの設置を行い、駅の利用促進および駅周辺の賑わいに努めました。

次の2ページをご覧ください。公共施設利用促進バス事業です。主に夏休み期間中の子どもたちを対象とした無料バスを運行することで、区内の公共施設の利用促進を図りました。運行ルートは、松浜や南浜を起点に、主に遊水館あるいは北区郷土博物館、豊栄地区公民館、豊栄図書館等へ向かいました。延べ834人の利用があり、利用した子どもたちへのアンケートでは高評価をいただきました。

次の3ページです。郷土芸能伝承支援事業です。令和元年度で3年目となる事業です。郷土博物館が20年前に撮影した神楽や獅子舞などのVHS映像をDVDにしました。作成したDVDは貸出用として使うほか、保存団体、図書館、コミセンなどに配布し、地域の宝である郷土芸能の振興と伝承支援につなげました。

次は4ページです。地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業です。コミュニティ協議会や小中学校などの活動に派遣された新潟医療福祉大学の学生が、協働のパートナーとして人と人、地域と地域、人と地域を結び付ける役割を担い、活動の活性化を図りました。令和元年度は延べ612人の派遣がありました。

次は5ページです。地域防災ひとづくり事業です。防災士へのスキルアップ研修を実施し、その研修成果を携えた防災士の指導による地域の防災訓練や研修会が12回行われ、共助のリーダー育成と、地域防災力の向上を図りました。また、避難の目的や避難所開設基準に関するチラシの作成も行いました。

## 健康福祉課長

健康福祉課から報告します。

6ページ目の地域子育て支援事業です。平成29年度から令和元年度までの3年間の事業です。子育て仲間づくりや地域で子育てを支える体制構築を推進し、不登校や引きこもり、児童虐待の予防につなげるなど、児童の福祉向上と健全育成を推進することなどを目的に実施しました。事業の内容、実績はご覧のとおりです。この中で、4番目の「ふゆっこまつり」ですが、新潟医療福祉大学を会場に実施しています。昨年は、来場者約2,400名、実行委員、学生ボランティアなど約300名の方々から参加いただいた事業でしたが、令和元年度、今年2月23日が実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、実行委員会と新潟医療福祉大学、私ども区と協議し、安全の観点から開催中止となりました。今年度の実施に関しても、感染対策を講じた上でどのような形で実施できるか、現在、実行委員の方々と検

討しています。詳細が決まりましたら皆様にお知らせいたします。

続きまして 7 ページ、認知症予防(もの忘れ検診)事業です。こちらも平成 29 年度から令和元年度までの 3 か年の事業です。北区の医師会 15 班の協力の下、特定健診受診に合わせてももの忘れ検診を実施し、認知機能の低下している高齢者を発見し、認知症への移行を防ぐとともに、認知症の進行を遅らせるため、適切な治療、サービスにつなげることを目的に実施しています。受診者は、平成 29 年度、平成 30 年度、令和元年度と徐々に減少していますが、認知症の発生が多いとされている 70 歳代の方が 2 年目、3 年目と毎年受診していただいていること、また、平成 30 年度からは要経過観察、要精密検査と診断を受けた方全員に対して、地域包括支援センターが訪問し、必要なサービスや治療につなげるということで、地域において、かかりつけ医と地域包括支援センターによる支援体制を構築しています。今後も連携しながら認知機能の低下が疑われる人を早期に発見し、適切な支援とサービスにつなげていきたいと考えています。

次に 8 ページ、介護予防のための専門職派遣事業です。令和元年度で 2 年目となります。北区の新潟リハビリテーション病院や県の栄養士会などの協力を得て、高齢者の日中の居場所やコミュニティセンターなどへ、リハビリに関する専門的知見を有する理学療法士や作業療法士などを派遣して、介護予防の知識と方法を提供することで、自ら介護予防に取り組む高齢者を増やして、健康で元気に暮らせるまちづくりを推進するために実施しています。令和元年度からは言語聴覚士の派遣も追加して、話すこと、聞くこと、食べることといったことの相談にも対応しています。また、より多くのテーマから選んでいただきながら介護予防に取り組むことが可能となりました。令和元年度の派遣回数をご覧のとおりです。今後も受講した方々が自ら介護予防に取り組んでいただけるよいきっかけとなるように、定着が進むように取り組んでいきたいと思っています。

## **産業振興課長**

続きまして産業振興課の事業となります。

9 ページをご覧ください。最初に海辺の森共創参画推進事業です。保安林であり、市民の憩いの場として親しまれている海辺の森の良好な森林環境を維持することを目的に取り組んだものです。令和元年度は、海辺の森で除草や植栽など保全活動を行う海辺の森協議会への支援を行いました。また、地域住民が主体となっているコミュニティビジネスの活動について支援を行うとともに、海辺の森の交流人口拡大を図るために、キャンプ場のソフト事業の見直しや新たな企画について勉強会を開催して検討を行いました。

続きまして 10 ページ、地域商業魅力創生プロジェクトです。地域商業の活性化とまちの

賑わい創出を図るために、地域ごとに実行委員会形式でいろいろな取組みを進めました。令和元年度は葛塚地区では、似顔絵フェスティバルを開催して、全国から募集した似顔絵を商店街等で展示するとともに、交流会などのイベントを実施しました。また、松浜地域では、味噌づくり体験、こらっせ松浜、松浜まつりの開催や、シェアキッチンを利用した料理教室交流会を実施しました。

続きまして 11 ページ、魅力発信キタクなるプロジェクトです。交流人口拡大を目的として、北区の観光 PR や観光資源の魅力向上に取り組みました。令和元年度は、民間旅行会社と連携したバスツアーを 4 回実施し、市内外から合計で 132 名の参加がありました。また、葛塚・松浜市(いち)の市場で利用できる共通市場商品券を発行し、観光資源の魅力向上に取り組むとともに、観光マップ等の作成、フェイスブックを利用した観光レポーターによる北区の魅力発信、豊栄駅前のレンタサイクルの運営や「阿賀野川ござれや花火」の日のシャトルバスの運行など、観光の利便性向上にも取り組みました。

12 ページ、北区総合スポーツ事業です。体育の日を中心に、さまざまな競技によるスポーツ大会を開催することにより、区民が気軽にスポーツを体験できる機会を設けて、スポーツの振興と健康増進を図る取組みを行っています。事業 2 年目となる令和元年度の取組みでは、「エンジョイスports in 北区 2019」と称しまして、フロアカーリング交流戦、各競技別大会、各種スポーツの体験などができるスポーツレクリエーション大会を開催したほか、「北区元旦歩こう会」を開催し、こちらは 533 名の参加がありました。

13 ページ、「次世代農業」推進事業です。農産物のブランド力強化や加工品の開発を通じて農家所得の向上につなげるとともに、生産現場への ICT の導入を進めて、省力化や生産技術の平準化を図ることを目的に取り組んでいます。令和元年度は、農協等と連携し、「しるきーも」の販売促進 PR などのブランド力強化に取り組むとともに、笹山小学校や区内飲食店と連携して「しるきーも」を使用した商品を開発し、伊勢丹「NIIGATA 越品」で販売しました。また、新技術の導入については、トマトの施設園芸への ICT などの新技術導入を目指し、新潟食料農業大学や生産者、関係機関・団体からなる検討会を開催するとともに、生産者へのアンケートを実施して、ICT 導入の意向などについて調査を行いました。

## 建設課長

建設課です。14 ページ、「松浜海岸の環境整備と地域活性化」事業です。松浜海岸の飛砂防止対策として、アキグミの植栽ならびに飛砂防止ネットの設置を行うものです。区づくり事業 2 年目となります。実績の欄をご覧ください。令和元年度は、10 月 11 日に松浜小学校の 4 年生や地域の方々、210 名ほどの参加をいただき、高さ 50 センチほどのアキグミの苗木

を約 3,300 本植えました。新潟日報からは 10 月 22 日に記事にいただきました。飛砂防止ネット設置については記載のとおりです。なお、今年も 10 月 6 日にアキグミ植栽を行い、約 280 名の方から参加いただきました。当日は自治協議会委員の皆さまからもたくさんご参加いただき全体として、年々参加者が多くなり大変喜んでおります。今後ともよろしく願います。

## 区 長

区自治協議会提案事業です。15 ページをご覧ください。4 月の自治協議会で議事事項として事業の評価を書面評価で既に終えておりますので、簡潔に説明いたします。

地域づくり部会担当の北区みんなで見守り隊です。見守り活動を行う多くの人たち、団体の情報交換の機会としてフォーラムを開催しました。

次は福祉教育部会担当の、生きる力・支えあう力育み事業です。子育て中の大事なこと、子育てへの応援の仕方をまとめた「ママ・パパ応援パンフレット」を作成し、赤ちゃんが生まれた家庭と園児の居る家庭に配布するとともに、児童館など、公共施設に設置しました。また、新潟医療福祉大学の学生を講師とした家庭介護セミナーを開催し、支え合いの気運の醸成を図りました。今年度、区企画事業として実施しているものです。

17 ページをご覧ください。自然文化部会担当の、子どもと音楽の出会い創出事業です。区内の小学 6 年生を北区文化会館に招き、クラシックに親しみ、感性を育む機会としてコンサートを開催しました。

18 ページ、潤いの福島潟創出事業です。福島潟のラムサール条約登録に向け、区民の理解を深めるため、パネル展の巡回開催などを行いました。

次に報告資料 1-2、A3 縦のものをご覧ください。「新型コロナウイルス感染症による特色ある区づくり予算事業への影響について」とタイトルがあるものです。

6 月の自治協議会で、令和 2 年度区づくり予算事業への新型コロナウイルス感染症の影響を 6 月 1 日現在の状況でお知らせしておりましたが、9 月 30 日現在の状況で更新したものですので、ご覧いただきたいと思えます。

## 松田会長

ただいまの報告について、ご質問、ご意見がありましたら願います。

## 清水委員

8 ページの介護予防のための専門職派遣事業について質問です。本来、早通の地域が指定

されていましたが、新型コロナウイルス感染症の関係で、できなかったということですが、来年度は実施されかどうかお聞かせください。

### 健康福祉課長

介護予防のための専門職派遣事業について、今年度、令和2年度に関しては、年度当初から新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、感染予防の観点から、派遣する病院の職員と、参加される地域の皆様方がご高齢であるということも考慮して、新潟リハビリテーション病院と協議しました。病院の職員と参加する高齢者の安全を第一にということで、今年度は派遣を中止しています。

しかしながら、コロナ禍における地域の高齢者の方々の健康面、機能低下も心配されるところなので、現在、新潟リハビリテーション病院の専門職の皆様方からは、自宅や地域の茶の間で、少人数でも繰り返し取り組めるDVDと資料を作成しています。まず、今年度申し込んでいただいた31団体の方々にお配りするとともに、広く区民の皆様方から活用していただけるように、現在、どのような方法があるか検討し、準備をしているところです。

この事業は今年度で最後となります。来年に向けて病院と協議中ですが、来年も新型コロナウイルス感染症の影響は免れないと思っています。地域の方々とマッチングしても実施が難しい状況が続くと思われるので、DVDと資料の作成で一旦様子を見るということで、この事業は3年間ひとくくりで、今年度で終了する方向で検討しています。

### 清水委員

実績報告書の中に、2年度(3年目)という中で、そういうことが書かれていなくて、派遣専門職を派遣するという事になっていきます。そうするとこれは、DVDとかその他で代替するという事でしょうか。

### 健康福祉課長

報告資料1については令和元年度の実績報告として、報告資料1-2を見ていただくと、下から3番目にこの事業の令和2年9月30日現在の状況が書いてあります。

来年度は、現在、派遣先の新潟リハビリテーション病院と協議を重ねているところで、決まりましたら報告をさせていただきます。

皆様方の安全を第一にということでこのような状況になっております。よろしくお願います。

## 本間(久)委員

地域子育て支援事業について、令和元年度の「ふゆっこまつり」が中止になりましたが、予算がほぼ執行されている状態です。この辺の事情を聞かせていただきたいと思います。

## 健康福祉課長

令和元年度の「ふゆっこまつり」について、予算としては「ふゆっこまつり」の実行委員会に対しての負担金ということで、支出しています。実施予定日は2月23日でしたが、その頃から全国的に新型コロナウイルスの感染情報が聞こえ始めました。準備は実行委員会の方々や、学生ボランティア、地域の方々からもご協力いただきほぼ終わっておりました。本当に直前に、やはり無理だろうということで中止になりましたが、費用についてはかかってしまったということでご了承いただきたいと思います。

## 赤間委員

来年度の特徴ある区づくり予算は、減額される予定があるのでしょうか。

当コミュニティでは、3年ほど前から、新崎駅に関していろいろな形で予算を付けていただき、今までとはまったく違った駅になり、地域の人も喜んでおります。その上、ここにエレベーターが付きそうだということで、ありがたく思っております。ですが来年度の要望について、令和3年度からは少し控えてもらいたいというような情報が入ってきました。「あれ、おかしいな」と。作るということにはなっていますが、できるのは2年先、3年先になるのか分かりません。そして、令和3年度の予算要求には、介入すると言われてるので、要望事項を作りようがないのです。

私たちもしびれを切らして、全地域に参加してもらっている新崎駅未来ビジョンの参加地域の代表者に、何か要望はありますかとアンケートをお願いしました。そして10月に、今年度初めて会議をしました。いろいろな要望が出ていますので、もしできれば、金額はともかくとして、令和3年度も予算をいくらかでもお付けいただけると、地域としても腰折れにならないでいいのではないかと感じております。

これは北区全体のことを考えれば、他所にどうしてもお金が必要だということ、これをやらなければならないということがあれば仕方がないのですが、予算も減らさずに、同じことをやるのであれば、この北3地区にもお願いしたい。我々は約50万円もない。北3地区の予算を見ても分かるとおり、松浜地区は390万円、南浜も三百何十万、濁川は3分の1か2分の1なのです。ですから、その辺も勘案していただいて、レベルは小さいですけれども、お考えいただくと大変ありがたい。流れは流れとして理解はしていますが、お願いしたい

と思っています。

## 区 長

区づくり予算については今のところ、前年度と同額並みと私どもは聞いており、その方向で準備を進めています。

1 ページの北区賑わいづくり事業についてということでのお話であったかと思えます。

ここは、令和元年度の実績と新型コロナウイルス感染症の影響ということで記載しております。区づくり事業、今、改めてここで言うまでもありませんが、区民、それぞれの地域課題ですとか、あるいは特色を生かすというところにお金をかけて事業を進めるというものです。基本的に、効果を毎年検証しながら3年、それでも解決しなければその先までというところもないわけではない事業です。

新崎駅については、たしかにまだエレベーターは形としてできていませんが、市の予算としてエレベーターを設置する予算は付いていますので、形が見えるまで、もうしばらく待つていただくということになろうかと思えます。

ただ、濁川地域の皆様から実行委員会を作り、盛り上げていただいて、エレベーターの設置が叶ったということは、区づくり事業のお手本と思っています。そういう形で、区づくり事業の役目を果たしたと言って終われることが一番いい形だと思います。

このあと、地域の皆さんでいろいろな活動について検討されたということですので、それはまた担当にお話いただき、区づくりがいいのか、地域活動補助金なのか、ほかの形での支援になるのか、こちらで検討させていただきたいと思えますので、まずは、地域で話し合われた内容を区に届けていただきたいと思えます。よろしくをお願いします。

## 松田会長

ほかにいかがでしょうか。特にないようですので、次に移りたいと思えます。

## (2) 令和3年度北区「特色ある区づくり予算事業」の提案状況について

### 松田会長

報告事項(2) 令和3年度北区「特色ある区づくり予算事業」の提案状況について、区長から報告をお願いします。

## 区 長

報告資料2の令和3年度「特色ある区づくり予算事業」の提案状況をご覧ください。



来年度に向けて、各課で今提案状況を作成中です。資料のとおりとなっております。予算金額も含めました詳しい内容については 12 月の自治協議会でお示しし、そのときには各課から詳しい説明をさせていただく予定です。今回は、各部会において、来年度の自治協議会提案事業を決定する際にこちらを参考にしていただきたいと思いますと思ひまして、資料の配布をさせていただきました。

#### 松田会長

ご質問、ありますでしょうか。特になければ、こあとの部会で、来年の計画を考える上でこれを参考にとということですので、よろしくお願ひします。

### (3) コロナ禍における北区自治協議会の課題について

#### 松田会長

次に、報告事項 (3) コロナ禍における北区自治協議会の課題についてです。これについては、私から説明いたします。

8 月の会議で意見用紙をお配りして、皆さんからご回答をいただきました。ご協力いただき大変ありがとうございました。結果のまとめを全員で共有したいと思いますので、報告資料 3-1 をご覧ください。これは、皆さんからいただいた意見の全文であります。資料 3-2 がまとめたものです。これを北区の意見として市民協働課に提出し、第 8 期への引継ぎとして振り返り資料に盛り込むということです。資料 3-2 は全区の統一様式となっており、皆さんにアンケートをお願いしたときの項目の順番と、順番が変わっているために少し戸惑うのではないかと思います。本日の説明はこちらのものの順番で行わせていただきます。

1 は自治協提案事業のあり方についてです。

①今年度の提案事業実施状況としましては、今年度予定していた三つの事業のうちの一つ、自然文化部会の福島潟の魅力を発信する事業については、当初予定していたイベントの実施をやめました。それに代わって、動画の制作、配信に切り替えました。ほか二つの事業、地域づくり部会と福祉教育部会の事業ですが、これは印刷物の制作や配布を手段としているため、影響ないとしました。

②として、自然文化部会で事業内容を変更する際に重視したポイントは、「With コロナ」時代に即した手段の変更はあっても、目的は変更せずに達するよう実施することでありましたので、これを入れさせていただきました。次のあり方については、資料 3-1 の皆さんの意見から、アからウの三つを入れました。

次の 2 の防災強化に向けた課題や取組みについても、資料 3-1 の皆さんの意見から、ア

からエの四つを入れました。①が課題で、②がそれぞれに対する取組みです。

次に3の会議の開催方法です。体制・運営の確立では、①オンラインの活用事例が、アンケートになかった項目でしたので、今までの会議の中でお聞きした早通健康福祉会館のオンライン飲み会の事例と、医療福祉大学のオンライン講義を入れてあります。この二つの例としてよろしかったかどうか、後ほどご意見をお聞かせください。

アンケートでは会議をオンライン開催できるかという質問でしたが、資料3-2では、3の②ですけれども、課題とクリア方法のみの記載となっています。資料3-1の皆さんの意見より、二つずつ課題とクリア方法を入れさせていただきました。ちなみに、アンケートの結果、今回、オンライン開催できると回答した方は11名、できないという方は19名であったそうです。

最後のその他の意見についても、資料3-1よりそれぞれ入れてあります。

全体について、何かご意見がありましたらお願いします。

### 山賀委員

説明によると、私どもの意見を聴取したものをこのような形でまとめ、北区としてこれを提出したいということでした。ということは、新潟市全体に同じものが要求されて提出されてくるのだと思います。一般に、課題というと、それを解決するために聞くわけなので、すべて解決するわけではないと思いますが、各区から集まったものを、市長はどうやってこれから進めていくのかということをお聞きしたいと思います。

### 松田会長

まず、この件については、私が先日、8区の各自治協議会の会長会議があったときにこういう質問項目が座長から出てきました。それを受けて、事務局で皆さんにアンケートをお願いしたという経緯があります。アンケートをいただいたものを基に、今回、事務局で、市民協働課が指定してきた資料の形式に合わせて作成したという経緯がありますので、それはご承知おきください。今の質問について、事務局からお願いします。

### 事務局

資料3-2を全区の自治協議会が、同じ様式でまとめて、市民協働課が全区のものをまとめます。7期の委員の中ではコロナ禍においてこういう課題があり、自治協議会として考えられることを8期の委員の方に引き継いでいくということで、作成しました。

## 山賀委員

私がお聞きしたかったのは、市で、このような課題が出たけれども、これはこうします、といったような、解決方法を考えることが我々の任期中にあるのか、ということです。

全体としてこういう方向でやりたいということもあるでしょうし、できないこともあるかもしれません。いずれにしても、その検討結果や対応方針なりを、今後どのような形で我々は知ることができるのかということです。

## 事務局

8期の委員の方と、行政が、どのように課題解決ができるのかということを考えていくということになると思います。

## 山賀委員

そうすると、今の課題については、対策を考えるのは市ではなくて、次の委員の方ということでしょうか。

## 事務局

市と次の委員が一緒に考えます。

## 松田会長

この先、これをどのように扱うかという話は先回の会長会議では出ていませんでしたので、今の山賀委員の質問について、このあとの会長会議で、当然、これを集約した形の報告等があると思います。今のお話のように、我々だけに投げかけられても解決していかない、当然、行政からやっていただかなければならないこともあると思います。その辺がどのように話し合いが進むかについてはまだ分かりませんので、次回、私自身が参加したあとで報告させていただきます。

ほかにいかがでしょうか。この件についてはほかにないようでありますので、これを北区の意見として市民協働課へ提出してよろしいでしょうか。ありがとうございました。ではこれを提出いたします。

## (4) 部会の会議概要について

### 松田会長

次に(4)「部会の会議概要について」、各部会長からお願いしたいと思います。

## 五十嵐委員

地域づくり部会です。

令和3年度自治協議会提案事業について、提案内容を確認し、協議いたしました。①松浜海岸緑化事業については、区企画事業として継続するため、自治協議会提案事業としては実施しないこととしました。②北区みんなで見守り隊についてですが、見守り活動は単年で終わるものではないため、長期的に継続していきたい。最終的には、住民、団体が主体的に動いていけるといいなどの意見がありました。③めざせ☆防災力向上！、④ハザードマップ勉強会、この二つの提案については、防災に関する事業として、一つの事業にまとめてはどうかということでした。防災とウォーキングを絡めるなど、事業のやり方を工夫してはどうかという意見もありました。⑤リモートオフィスとしての地区公民館等の活用ですが、委員が積極的に関わることは、なかなか難しいのではないかという意見がありました。今日の部会にて再度協議して決定させていただきたいと思います。

令和2年度自治協議会提案事業の「北区交通マップ作成」について、案をもとに以下のおり協議しました。また、発行日について4月1日としたいということであります。理由は、1月から2月にかけて、新年度に向けた運行改定がありますので、せっかく発行するにあたりまして、しっかりとしたものを区民の皆様に配布して活用していただきたいということからです。作成は今年度に行い、発行を4月1日といたします。

## 清水委員

福祉教育部会です。

令和3年度自治協議会提案事業について。部会として提案された6事業について意見交換を行いました。健康福祉課より、「闘病サポートセンター」は、今、コロナ禍で専門職が忙しくて、また、集まるということも感染の危険があり、実行は非常に難しいのではないかと。「お悩み相談室」については、同様の事業を、市を含めてさまざまな団体が行っている。「みんなで子育て学ぼうよ」は、現在保育参観を行っておらず、また園に長時間集まる状況は感染の危険があるため難しいという話がありました。

委員からは、「北区をてくてく歩き再発見」は、他の団体でもやっているのではないかと。「助け合いっていいね」は、コロナ禍でもやりやすのではないかと。「『親』を学ぶ…親育ち」は、若い世代は区役所だよりをほとんど見ない。SNSならよく見ている。こういう意見がそれぞれ出されました。今日、また議論をしながら決定していくこととしました。

令和2年度自治協議会提案事業「福祉教育部会だより」についてです。本日の部会から、

これまで保護者・子ども向け担当、応援団向け担当、福祉担当のそれぞれで議論してきたところですが、全体を合わせて検討することになりました。詳細は記載のとおりです。

## 阿部（美）委員

自然文化部会です。

最初に十二潟の紹介動画を視聴しました。福島潟だけではなく、十二潟など、いろいろな潟の魅力があるということを再確認しました。

福島潟の PR 動画ですが、豊栄高校に依頼をしており、今日まで 4 回ぐらい撮影しております。9 月は 8 日と 16 日に撮影しており、ここには自治協議会委員が参加しました。

令和 3 年度自治協議会提案事業については、きょう開催する第 7 回の部会において、決定することとしました。委員は、提案されている事業を基に、どのような内容にするか、今日までに各自で考えておくという宿題を出しておりますので、今日発表があり、そこから決定していきます。

また、委員提案のうち、「出前コンサート」については、市の事業において類似の事業があるということで、候補から外すことにしました。

主な意見として、「新型コロナウイルスの感染状況が日々変化していくことを鑑み、個別具体的すぎる事業内容は避けた方がよいのではないか」「事業を実施するのは次期委員であるため、その委員の裁量が図れる余地を残しておいた方がよいのではないか」「次期委員が動き始めやすいように、ある程度の道筋、大枠としてのテーマを示しておくことが必要ではないか」「提案されている事業を土台とし、それぞれの内容を適宜合わせるなどして一つの提案事業としてまとめてはどうか」というような意見が出ました。

## 松田会長

今ほどの報告について、ご質問やご意見がありましたらお願いします。

ないようですので、この件については終わらせていただきます。

## 3 その他

### 松田会長

次に 3「その他」です。まず「市長とすまいるトーク in 北区」について、区長からお願いします。

### 区 長

本日、机上に配布しました「市長とすまいるトーク in 北区」のご案内をご覧ください。

市長が、市民の皆様と「コロナ禍における新潟市の未来に向けた取組み」をテーマに、意見交換を行うことになりました。日時は11月23日の祝日、午前10時から、場所は豊栄地区公民館2階の大講堂です。今回は新型コロナウイルス感染症の関係で事前申し込みとさせていただきます。お手数ですが、本日、一緒に付けました出席報告書を10月29日の木曜日までにメールまたはファックスで担当まで送付ください。本日、お帰りになる際に受付にお渡しいただいても結構です。大勢の皆様の参加をお待ちしております。

#### **教育支援センター長**

北区の教育ミーティングについてです。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせておりましたが、令和3年1月28日、自治協議会開催予定ですが、その前に行うということで今準備を進めています。例年と異なる形での開催となりますが、皆様の出席をお願いいたします。正式な案内文書につきましては後日送らせていただきますので、よろしくお願いいたします。

#### **松田会長**

これは例年6月ころにやっていた形式でやるということでしょうか。福祉教育部会だけが参加するというのではなくて、全員参加という形ですか。

#### **教育支援センター長**

はい。

#### **松田会長**

ほかに事務局からございますか。委員の皆さんから、何かありましたらお願いします。

#### **五十嵐委員**

地域で事業を行うに際し、新潟医療福祉大学から協力をいただいております。しかし、このコロナ禍の時代でなかなか難しい状況で、今年度で新型コロナウイルス感染症が終結するような状況でもないのですが、大学としてどのような、今までのやり方等も含めて、何かこうしたいとか、また、我々にこのようにしてほしいということをもしお聞きであればお聞かせ願います。来年度の計画をたてるにあたり、その辺を参考にしたいと思ってお聞きしました。

## 区 長

大学もずっとオンライン授業で、ようやく実習等の関係があって対面授業が始まったような状況と聞いております。さまざまな形で私たちも事業に協力いただいておりますので、どのような状況かということを改めて確認した上で、今回の自治協議会で皆様にお伝えできるように準備したいと思います。次回と言わず、もし状況が許せば、分かった時点で、地域の皆様に情報を流せば流したいと思いますので、よろしく申し上げます。

## 本間(久)委員

皆さんの机の上にチラシがあると思います。私も所属している「にこっと」という組織で、普段は傾聴の相談などをやっています。このたび、がん患者向けに、がんの経験者が相談にのる相談会を始めようということで、今月末に説明会をやり、来月から活動を開始する予定です。今月の内容については、北区役所だよりに載っておりますので、そちらを参照ください。がん患者の方には、患者の会がありますが、病院に附属しているようなところだと、病院の関係者の意向が強くなって相談ができなかったり、どうしても相談していると、私のほうがいい、私のほうはどうだというような話になってきて、非常に相談しにくいということがあります。皆さん、もし機会がありましたら、こういうのがあるということをお伝えいただければと思いますので、よろしく申し上げます。

## 松田会長

ほかにないようであれば予定された議題および連絡は以上であります。